

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	978	198 (20%)	865	512	静岡 (34%) 熊本 (22%) 愛知 (20%)
2024年見通し	980	—	900	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
静岡、熊本、愛知などから入荷する。各産地とも作付面積は微減しているが、入荷は前年並の見込み。生育は今のところ順調で、品質も良い。本県産については、例年通り8月の旧盆前にピークとなる見込み。 【見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価 格：前年をやや上回る。(4.0%)			資材価格の高騰を踏まえた価格設定に努めているので、高品質を維持した生産をお願いしたい。梅雨に入ったので、圃場管理を徹底して品質の維持に努めて欲しい。 産地から提出された出荷計画に基づき量販店へ販売をしているので、計画にずれが生じる場合は、きめ細やかな情報提供をお願いしたい。 量販店が求める消費者ニーズの高い大玉の生産をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	1,648	513 (31%)	185	207	愛 知 (31%) 静 岡 (20%) 神奈川 (20%)
2024年見通し	1,700	—	175	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
本県のほか、静岡、神奈川などからの入荷となる。沖縄からの入荷はほぼ終了。 今年は昨年のような大雨は無く、目立った病害虫の発生も無く、生育は平年並である。本県の作付面積は横ばいであり、出荷ピークとなる7月は平年並の入荷量が見込まれる。 【見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(3.2%) 価 格：前年をやや下回る。(△5.4%)			愛知県産は品質が高いため、引き続き形や色揃えをしっかりと整えるなど、高品質の保持に努めて欲しい。		